

## 地 域 再 生 計 画

### 1 地域再生計画の申請主体の名称

熊本県玉名市

### 2 地域再生計画の名称

新幹線新玉名駅（仮称）を核とした温泉街の活性化

### 3 地域再生の取組を進めようとする期間

（短期）温泉街の活性化

平成16年度～平成19年度の4年間

（長期）新幹線新玉名駅（仮称）周辺整備

平成16年度～平成22年度の7年間

### 4 地域再生計画の意義及び目標

#### 【地域の特性】

玉名市は、九州のほぼ中央、熊本市と福岡県大牟田市の中間に位置し、市内中央を流れる菊池川の右岸に市街地を形成している。北部の県立公園小岱山の丘陵部と南部に有明海に面する海岸線との間に肥沃な玉名平野の穀倉地帯が広がり、物資供給の要衝の地として古くからこの地方の政治・経済・文化の中心地として発展してきた。

また、1300年の歴史を持ち豊富な湯量と優れた泉質を誇る「温泉のまち」、そのほかにも、桜の名所である蛇ヶ谷公園、6万5千本の花しょうぶが咲く高瀬裏川、山田の藤、桃田運動公園のつつじなど「花のまち」としてしられ、県内外から多くの観光客を集めている。更に市の中心部の旧高瀬町には高瀬目鏡橋をはじめとした一群の石橋、高瀬商人が構造を競い合った商家の石垣など史跡や文化財をはじめ「歴史のまち」としての多くの観光資源を有している。

なお、グレン・ミラーの生誕地であるアメリカ合衆国アイオワ州クラリンド市と平成8年に姉妹都市を締結するとともに、国内外から有名なジャズ奏者を迎えて開催するグレン・ミラー音楽祭は昨年で10回目を迎え、市民合唱団、玉名女子高等学校吹奏楽部など市民レベルでの音楽活動も広がるなど「音楽のまち」としての取り組みも根付いてきている。

## 【地域再生計画の意義及び目標】

本市の観光資源の中核となるのは、1,300年の歴史を誇る玉名温泉である。玉名温泉は、豊富な湯量と優秀な泉質を有し、毎年多くの観光客を集客しているが、ここ5年間でみると、日帰り客は年々増えているが、宿泊客は年々減少し5年前と比較し30%（6万人）以上落ち込んでおり、温泉街の活性化、再生が急務となっている。

一方、九州新幹線鹿児島ルート<sup>1</sup>の全線開通は間近に迫っており平成25年開業より早まることも予想されている。新幹線開業により新玉名駅（仮称）は、九州最大の都市福岡市博多駅から30分で結ばれ、隣接する熊本駅と共に生活圏の一部となるなど本市の経済活性化の起爆剤となる。

本市が策定した「新幹線新玉名駅周辺整備構想（平成14年3月）」では、新玉名駅（仮称）の開業により乗降客数が増大すると見込んでいる。このように、将来的には九州新幹線新玉名駅（仮称）の整備により広域的交流活動が飛躍的に活発化すると期待できる。

しかしながら、新幹線周辺整備は一つ間違えると、福岡都市圏域に玉名市周辺の消費者を奪われることにもなりかねないし、個性や魅力の無い「まちづくり」が進んでしまうと乗客が玉名駅を通過するとき、「ああここにも駅があったんだ」と、単に博多、熊本、鹿児島各駅の通過駅に留まり、活性化の絶好のチャンスを逃すことになる。

新玉名駅（仮称）周辺整備等と関連させてソフト、ハード事業両面から「田んぼの中の新幹線駅」の外堀を埋めてゆくさまざまな施策を計画的に着実に実施し、これらを通じて、衰退の一途をたどる玉名温泉の誘致客数の増加を図るための大きな足掛かりとする必要がある。

具現化の手法としては、本市の地域特性である「温泉のまち」、「花のまち」、「音楽のまち」、「歴史のまち」としての観光資源・自然環境・歴史・文化など有形無形の財産を再発見・再評価し、それらを有機的に結びながら「まち」全体の個性・魅力を際立たせることである。

今回の地域再生計画は、これをより一層確実なものとするためのものであり、既存都市施設の活用、アドバイザー機能や情報発信等の国のさまざまな支援プログラムを活用して、個性豊かな活力ある「まち」を形成することで、玉名市の持続可能な発展と地域経済の活性化を目指すものである。

以上、玉名市をそして温泉を訪れる人が『耳で「聴く」、目で「観る」、体全体で「感じる」、足で「歩く」、手で「触れる」といった人間の五感<sup>2</sup>いっぱいをこの温泉で体験することで、忘れられない、また訪れたい旅となる。』ことを目標とする。

さらに、温泉旅館の女将さんで構成する「女将の会<sup>3</sup>」では、3年前から地元の食材を活かした料理の研究を行っており旅館ぐるみで温泉料理の質的向上に取り組んでいる。また、温泉街の一角で毎週日曜日の早朝に朝市が開かれており、また「高瀬藩やっちゃば」と呼ばれる販売所では、毎日採れたての新鮮な野菜、果物等を市民や温泉客に提供し喜ばれている。また、温泉街の中心地に完成した足湯では、連日たくさんの方が利用しているが、その清掃を温泉関係者や地元の区で積極的に行うなど旅館組合や地元住民の気運が盛り上がりを見せているところであり、住民と行政とが一体となり活性化に取り組んでいく。

## 5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

新幹線開通は、願ってもない経済的社会的効果をもたらす起爆剤となる。そのための新幹線周辺事業を着実に整備することが大前提となる。その基で魅力あふれる温泉街を形成することは同様に重要な課題である。

具体的施策を着実に実践することで、人々の往来をより多くし、温泉街が「最近にぎやかになったねー」と一般人や温泉客から思われるような温泉街の賑わいを創造する。いわゆるリピーターと言われる温泉客をより多く確保することで、温泉街への来街者の増加が図られる。また、これにより地元の旅館、商店街が活気づき、「接客」「おもてなしの心」が向上する相乗効果を生む。効果としては温泉入り込み客数の減少の歯止め、更には現状の20%増を見込む。

## 6 講じようとする支援措置の番号及び名称

212028（まちづくり交付金の創設）

208001（地域づくり支援室などアドバイザー機能の強化）

## 7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業

（その他の関連する事業）

温泉街の中心部である立願寺公園を起点として既存の山路を利用した散策路を整備する。既存の雑木林に加え新緑と紅葉を楽しめる落葉樹を植樹し散策の途中で利用できるベンチ、ポケットパークを整備する。近くを流れる繁根木川の堤防を利用して回遊性を確保し約2km弱、所要時間約1時間の散策路を整備する。

将来的には、散策路沿いにミニ美術館、工芸館、小袋焼きや地元産品を展示販売する小点を散在させ、散策の楽しみに花を添える。

## 8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

特になし

別紙 1

1 支援措置の番号及び名称

2 1 2 0 2 8 まちづくり交付金の創設

2 当該支援措置を受けようとする者

熊本県玉名市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

〔取組に関与する主体〕

玉名市

〔取組が行われる場所〕

玉名市玉名地区（新玉名駅（仮称）周辺地区）、玉名市温泉地区

〔取組の実施期間〕

平成 1 7 年度～平成 2 1 年度

〔事業内容〕

本市では、本年度から平成 2 2 年度までを計画期間とし、基本計画区域 7 . 2 ヘクタールのうち、新駅南側を中心とする 4 ヘクタールを対象としている。開業までに駅前広場（北口 2 , 7 0 0 平方メートル、南口 8 , 9 0 0 平方メートル）駐車場（同 2 , 3 0 0 平方メートル、同 1 0 , 9 0 0 平方メートル）アプローチ道路の完成を目指している。これらの整備に際し、創設された「まちづくり交付金」を活用して、平成 1 7 年度以降に、交通機能や商業機能の再生を総合的に整備することを検討する。

また現在、玉名温泉街を縦断して南岩原線街路事業、まちづくり総合支援事業の立願寺横町線が施工されており、これらの都市計画事業に付随して石畳等の沿道整備を行うなど、「まちづくり交付金」を活用した高質空間形成を図ることを検討する。

（検討している整備項目）

- 駅舎、駅前広場、駐車場に「花のまち」にふさわしく、花と緑のポケットパークを設け、利用客の心を和ませる。

- 駅前広場、駐車場には全施設を通して、段差解消、エレベーターなど徹底的にユニバーサルデザインを追求した施設整備を図る。
- その他交流拠点整備、情報発信施設整備
- 南岩原線街路事業に合わせ、沿道の約200mを石畳の歩行者専用に造り替え、温泉客の安全で温泉情緒あふれる憩いの場とする。
- まちづくり総合支援事業の立願寺横町線の施工に伴い、隣接する足湯で賑わう立願寺公園等にストリートファニチャー（BGM機能を有するモニュメント）やソーラーパネルによる照明施設の整備を行い、温泉街にふさわしい空間整備を行う。
- 都市計画事業に合わせ、町なみ環境整備事業として、隣接する排水路を歩道として整備し、温泉街の景観形成と温泉客の歩行中の安全性を確保する。

## 別紙 2

### 1 支援措置の番号及び名称

2 0 8 0 0 1 地域づくり支援室などアドバイザー機能の強化

### 2 当該支援措置を受けようとする者

熊本県玉名市

### 3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

〔取組に関与する主体〕

玉名市

〔取組が行われる場所〕

玉名市全域

〔取組の実施期間〕

平成 1 6 年度～平成 1 8 年度

〔事業内容〕

本市では、グレン・ミラー音楽祭に代表される「音楽のまち」としての取組を行ってきている。

また、旧高瀬町の石垣など史跡や文化財、銀象嵌(がん)の太刀で有名な船山古墳をはじめ、舟形古墳や装飾古墳を多数残し、考古学上貴重な遺跡が豊富な「歴史のまち」でもある。

「地域づくり支援室HP」で提供される関連情報や「地域づくり支援アドバイザー」を活用して、これら本市の有する「音楽」・「歴史」による地域づくりをより一層推進していきたい。

温泉旅館や商店で働く人々が、玉名の歴史や玉名の音楽について知識を深め、訪れる人に話し伝えたりガイドすることで、玉名の歴史や音楽を情報発信していく。